

宍 議 第 219 号
令和 7 年 7 月 30 日

宍 栗 市 長 福 元 晶 三 様

宍 栗 市 議 会 議 長 浅 田 雅 昭

宍 栗 市 地 域 防 災 計 画 の 一 部 改 訂 (案) に 対 す る 議 会 意 見 に つ い て

標 記 に つ い て 、 下 記 の と お り 意 見 を 提 出 し ま す 。

記

【第 2 編】災害予防計画

①災害予防計画 33

2 品目 必要とされる食料や生活必需品について

意見⇒5 日目以降電気、水道復旧と記載されているが、総則一 8 第 2 節第 1 款の平成 21 年台風第 9 号による災害の 7 被害状況 (4) ライフラインの被害復旧完了は 9/8・9/4 となっている事を考え合わせると、現実と乖離している。被害状況の表記を再考すべきである。

【その他】

宍 栗 市 の 地 域 防 災 計 画 は 、 自 助 ・ 共 助 ・ 公 助 を 基 本 と し て 過 去 の 被 災 経 験 を 踏 ま え な が ら 綿 密 に 総 合 的 に 構 成 さ れ て い る と 評 価 さ れ る 。 特 に 災 害 発 生 時 に は 、 自 助 ・ 共 助 ・ 公 助 の 有 効 性 が 高 い こ と も アンケート結果が示しているところである。今後の気象災害の激甚化・高齢化・人口減少・地域人材の不足などを考えると、住民マンパワーを一層強化する必要がある。そのためにも是非この地域防災計画のダイジェスト版を作製して住民に配布する事を希望する。自主防災のためにもダイジェスト版を作製し、周知を図る必要があるのではないか。